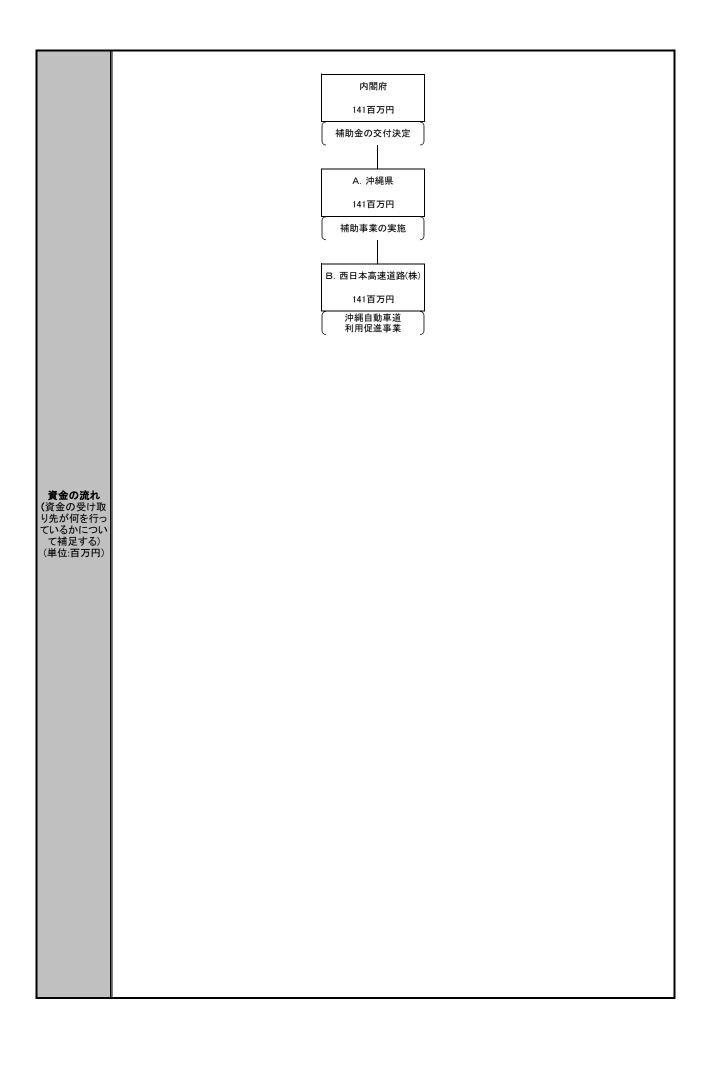
	平成23年 行政事業レビューシート (内閣府)													
事業	集名		沖絲	電自動車道 和	川用	足進事業	担当部	局庁	内閣府政策約	充括官	了(沖縄政策担	1当)	作月	或責任者
事業開 終了(予定				平成11~	22年	度	担当記	課室	参事'	官(介) (直担当	¥.	多事官	馬場竹次郎
会計	区分			一般会	計		施策	名			9. 沖縄政	対策の推議	進	
根拠 (具体 条項も	的な			_			関係する通知	「る計画、 沖縄振興計画(平成14年7月 内閣総理大臣決定)						
	す姿を 3行程					依存している沖 済の活性化に寄								
事業 (5行和 内。別	涅度以	施。 沖縄 なお	県は、 、平成2	割引に伴う》 22年度につし	或収 ハて	ついて、3割程度 相当分を西日本 は、国土交通省 O対象とし <i>た</i> 。	高速道路((株)(こ支払。					
実施	方法	□直接実施			業務	務委託等	■補助		口貸付		その他			
						20年度	21年度		22年度		23年	度	2	4年度要求
		予	当神	切予算		913		888		141	_			
7. Mr	車額・ .行額	算の	補工	E予算		0		0		0				
執行		状	繰走	返し等		0		0		0	_			
(単位∶百	百万円)	況		計		913		888		141	-			
			執行	額		913		888		141				
		執行率(%)			(%) 100%			100%	1	00%	0%			
		成果指標						単位	20年度		21年度	22年	度	目標値 (年度)
成果目成果!	実績、	陸上交通の大部分を道路に依存している沖縄県の 各地域間の交流、とりわけ観光産業の振興を中心と した北部地域との交流促進を通じ、沖縄経済の活性					成果実績							
		化に寄与することを目的。但し、定量的な指標を示 すことは困難。					達成度	%						
X 54 45	1 2 72. √ ¢	活動指標						単位	20年度 (H19.7~ H20.6)	(H2	21年度 0.7~H21.6)	22年 (H21.7~		23年度活動見込
活動指統計	実績	沖縄自動車道交通量					活動実績 (当初見込 み)	台	26,035,662		26,887,156		08,171	
												(26,46	1,409)	()
単位当コス				(P	3 /)	算出根拠							
	1	1 目		23年度当初-	予算	24年度要求			3	主なは	曽減理由			
平成23・24年度予算内訳		計												

	事業所管部局による点検									
	評価	項目	特記事項							
目的	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。								
状・況予	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。								
男の	_	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。								
資金	0	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。								
の	_	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。								
使流・	0	受益者との負担関係は妥当であるか。								
費	0	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。								
I	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。								
活	0	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。								
動実	0	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。								
績、	0	活動実績は見込みに見合ったものであるか。								
成果	0	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか								
果実績	0	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。								
点検結果		る進捗管理や補助金の実績報告により実施内容の確認を行った。 土交通省が行う高速道路の無料化社会実験の実施が平成22年6月28日』	より開始されたことにより、本事業は終了した。							
		上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	毎番金に大は2mm歩泊金)							
		上記のア昇監視・効率化ナームの所見を踏まえた収音点(恢	昇安水にわける反映仏沈寺)							
		補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となって)	いる場合はその結果も記載)							



		 A. 沖縄県			E.	
	費 目	使 途	金額	費 目	使 途	金額
	補助金	沖縄自動車道利用促進事業	(百万円) 141			(百万円)
	110-23 202	7.145 P. 2.17.18C. 7.14				
	計		141	計		0
		B. 西日本高速道路(株)			F.	
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	負担金	通行料金の割引に伴う減収額の補填	141			
費目・使途 (「資金の流れ」						
においてブロックごとに最大の						
金額が支出され						
ている者について記載する。費						
目と使途の双方						
で実情が分かるように記載)	- 1		141	=1		
	計	C.	141	計	G.	0
	# 0		金 額	# 0		金 額
	費目	使 途	(百万円)	費目	使 途	(百万円)
	計		0	計		0
		D.			H.	
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
			(H)			/円/111/
	計		0	計		0

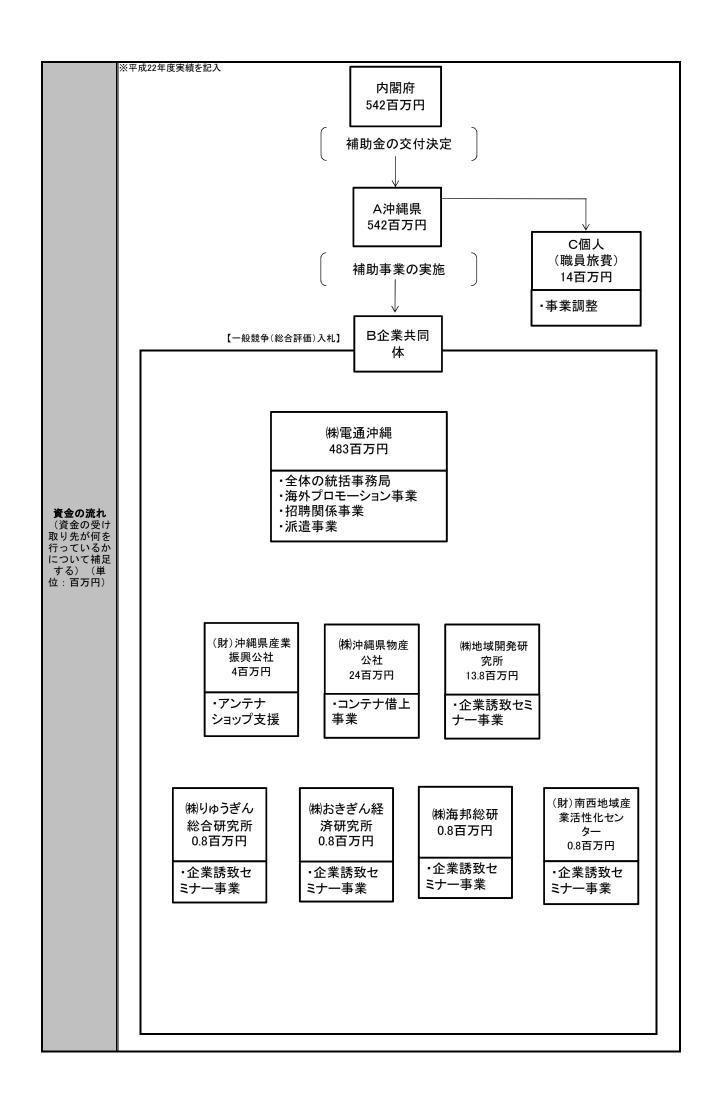
支出先上位10者リスト B.

Б.	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	西日本高速道路(株)	通行料金の割引に伴う減収額の補填	141	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

事業番号 0070-2

				平成2	3年	行政	事業	美レビュ	.—;	シート	(内	閣府)			
事	業名		沖縄国	際航空物流	ハブ活	用推進事業		担当部	局庁	内閣府政	策統括	官(沖縄政策打	旦当)	作月	战責任者	
	開始・ 予定)年度			平成 2	2年度	E	•	担当認	果室	参	事官(企画担当)	参	事官	馬場竹次郎	
会記	計区分			一般	会計			施策	名			9. 沖縄	政策の推進	<u>É</u>		
(具	処法令 体的な も記載)			_	-			関係する 通知	等	/ 中市电弧		[(平成14年				
(目打筒潔に	の目的 指す姿を こ。3行程 以内)	の企業	業誘致、 タ	∤国観光客の	の増加:	が期待され、し	いて	は沖縄の産	業振興		創出に	寄与し、自立型	!経済の構9	楽に資す	「るものである。	
(5行	業概要 行程度以 引添可)	品の 企業	販路拡大 誘致セミ	た、外国人観 ナーの開催	観光客 崔、海ダ	の誘客を図る 外一部都市に	るため こて沖	め、日系臨3 中縄県産品を	2型企 5販売	流を活用した、 業が多く有す するためのア)の海外メディ	る海外 ンテナ	各都市及び[ショップの開詞	国内主要都 役、輸送コ	『市にま スト軽》	oける臨空型 域のための航	
実加	施方法	口直:	接実施	[]業務	委託等		■補助		口貸付	□貸付 □その他					
						20年度		21年度		22年度		23年	度	24	4年度要求	
		予	当初	7)予算		_		_			544	-				
		算	補ュ	E予算		-		_			0	-				
	単額・ ↓行額	の状	繰起	越し等		_		_			0					
(単位	:百万円)	況	計 –			-		_	544	-	_	_				
			執行	額		-		-			542					
		執行率(%)				-		-			100%			_		
				成果	指標				単位	20年度		21年度	22年	度	目標値(年度)	
		那覇空港国際貨物取扱量(トン/年度)					成果実績	トン	_		-	約154,		200,000 (24年度)		
	目標及び 果実績 フトカム)							達成度	%				77.2	1%	約400	
		国際線乗降客数(人/年度)						成果実績 達成度	千人	. –		_	約40 101.7		(24年度)	
		臨空型企業誘致(社/年度)						成果実績	社	<u> </u>			2	070	5	
								達成度	%				40%	6	(24年度)	
				活動	指標				単位	20年度		21年度	22年	度	23年度活動見込	
活動	指標及び 助実績 ・トプット)	・香港、上海、台北におけるアンテナショップ開設支援 ・航空コンテナスペース借り上げ事業 ・沖縄ハブ就航海外5都市(香港、上海、台北、ソウル、バンコク)での沖縄ブロモーション事業 ・企業誘致セミナー国内6都市、海外9都市の開催等 なお、活動内容等は全体方針を策定する委員会での検討						(当初見込					(,	_ ()	
			困難であ		.,,,,,,	定量的な活動指	1赤07							,	,	
	な当たり Iスト			(円/)		算出根拠								
	書	目		23年度当初	予算	24年度要求	ξ .				主な	增減理由				
平成23・24年度予算																
算 内 訳		計														

		事業所管部局による点検	
	評価	項目	特記事項
目的	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
状・況予	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
算の	_	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金	0	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
の	0	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
使れ、	0	受益者との負担関係は妥当であるか。	
費目	0	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動	0	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
実績	0	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
•	0	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
成果実	_	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているだ	
續	0	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	実施報告	告書や沖縄国際航空物流ハブ活用推進委員会の意見も踏まえ、より効率に	
		予算監視・効率化チームの所見	
		上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	享要来における反映状況等)
		補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となって)	いる場合はその結果も記載)



A.沖縄県 E. 金 額 金 額 使 途 費目 費目 使 途 (百万円) (百万円) 平成22年度沖縄国際航空物流ハブ 528 委託費 活用推進事業 事務費 旅費及び補助員 14 542 計 0 B.企業共同体(代表 (株)電通沖縄) F. 金 額 金 額 費目 費目 使 途 使 途 (百万円) (百万円) 海外プロモーション ン費 海外プロモーション 218 112 アンテナショップ開設 開設・支援費 企業誘致セミ ナー関係費 企業誘致セミナー 48 費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロッ クごとに最大の 上事業 沖縄ハブ稼働1周年周知事業 46 航空コンテナの借上げ 17 クにに取入の 金額が支出され ている者につい て記載する。費 目と使途の双方で実情が分かる によるで記載する。 消費税 3 委員会の運営 その他経費招聘関係費、派遣関係費 60 25 ように記載) 計 528 計 0 C. G. 金 額 金 額 費目 使 途 費目 使 途 (百万円) (百万円) 計 0 計 0 D. H. 金 額 金 額 費目 使 途 費目 使 途 (百万円) (百万円) 計 0 計 0

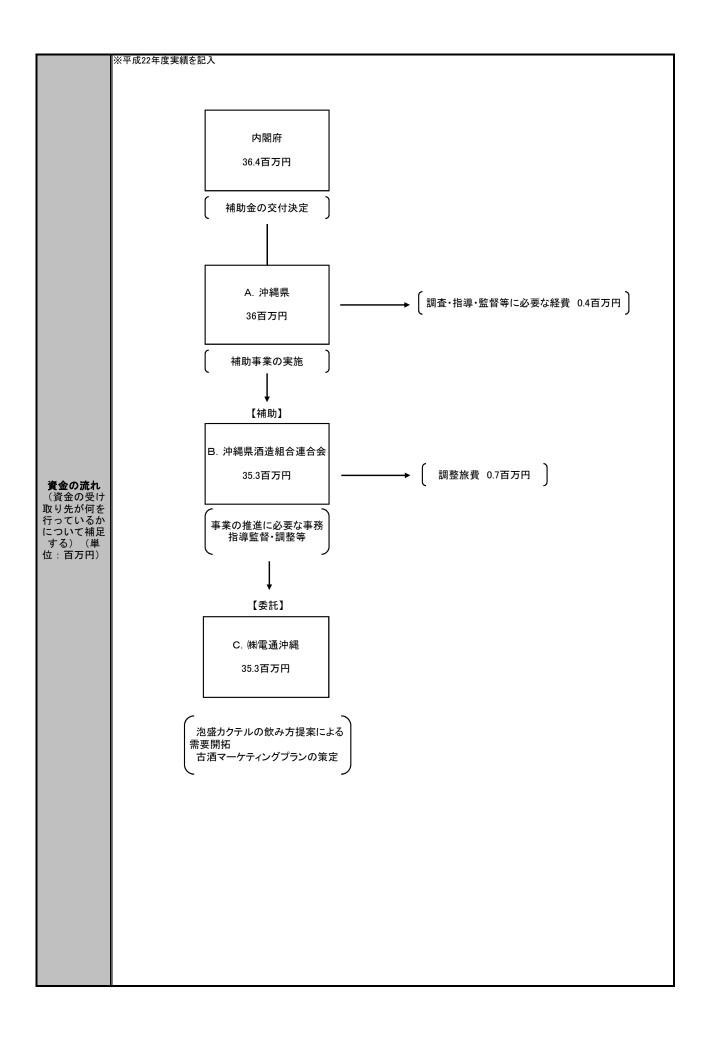
支出先上位10者リスト A.沖縄県

7./1	支出先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株沖縄電通を代表とする企業共同 体	平成22年度沖縄国際航空物流ハブ活用推進事業 委託業務一式		随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

事業番号 0070-3

			平成23	3年 行政	事第	美レビュ	.—	シート(内	閣府)			
事	業名			ブ総合支援事業		担当部	局庁	内閣府政策	統括官	宫(沖縄政策担	当)	作月	龙責任者
	開始・ 定)年度		平成22~	23年度		担当認	果室	参手	事官(1	企画担当)	参	事官	馬場竹次郎
会記	†区分		一般会	計		施策	名			9. 沖縄政	対策の推進	É	
(具	処法令 体的な も記載)		_			関係する 通知	等	沖縄振興計画(平成14年7月					
(目指簡潔に	の目的 旨す姿を こ。3行程 以内)	め、女性や低 もに、泡盛愛	ミアルコール。 好者や富裕	成16年度をピー/ 志向の若者などを 層に対しては古沼 り新たな需要を引	·対象 す市場	Rに「泡盛力・ Rの確立を図	クテル 図るた	/」などの飲み方 めのに、古酒マ	の提乳	案や琉球泡盛	め商品特	性の記	斥求を行うとと
(5行	集概要 f程度以 训添可)	ア セミナー イ セミナー ウ 泡盛カー ②古酒マーク ア 市場実	-・試飲会の -・試飲会参加 クテルの飲食 アティングプラ 態調査 アーケティング	ロ者への継続的7 店向けメニュー	プロ 集作系	ーチ							
実施	拖方法	□直接実施		業務委託等	■補助		口貸付		その他				
				20年度		21年度		22年度		23年	度	2	4年度要求
	菲額・	予当	初予算	_		_			37		71		_
- 基金		σ̂ — —	正予算	-		_			0		0		
執	行額 :百万円)	状 繰 沢	越し等	_		_			0		0		
(単位	· 日 刀 口)	7)6	計	_		_			37		71		
		執行	額	-		-			36			_	
		執行率(%)		-		-		_	99%	%			
成果目	目標及び			単位	20年度		21年度	22年	度	目標値 (23年度)			
成男	!実績	泡盛の県外に	成果実績		※ 4,110kl		※ 3,825kl	3,410	kl	3,415kl			
	,,,,,,	的には前年原 <u>※20年度、</u>	37年度は参		達成度	%	_		_	89%	1		
			活動指	標			単位	20年度		21年度	22年	度	23年度活動見込
活動	旨標及び 助実績 トプット)			した「泡盛セミナー 実施(東京2、大阪		活動実績(当初見込					1,580	名	_
		名古屋、札帕	晃)			み)					(1,500	名)	(1,500名)
	さ当たり コスト	※公共事業 い	と違い単位当	たりコスト計上は	難し	,算出根拠							
	書	目	23年度当初	9 24年度要求	रे				主な	増減理由			
平成23・24年度予算内訳													
		計											

		事業所管部局による点検							
	評価	項目	特記事項						
目的	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・泡盛産業の振興は上位計画(沖縄振興特別措置法、沖縄振興計画、分野別計画等)において重要産業として位置づけられている。 ・泡盛製造業は、沖縄(特に離島地域)の地域経済や雇						
・予算の状	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	用確保に寄与しており、製造業の少ない沖縄においては 重要な製造業の一つである。また、沖縄県では、泡盛産 業を沖縄の地域特性を生かした比較的優位性のあるオ キナワ型産業のうち、重要産業として位置づけており、泡						
状況	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	盛産業の自立的発展に向けた県外販路の拡大や効果 的なマーケティング戦略の構築に向けた業界の取組を 国が連携して支援する必要がある。						
資金	0	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・9月末、3月末を基準日として、沖縄県より事業の進捗状況について報告を受けるとともに、事業の実施ごとに						
の流	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	沖縄県等と事業の実施状況の確認や事業の効率的・効果的な実施のための打合せを行った。また、補助金の額						
途れ、	0	受益者との負担関係は妥当であるか。	の確定時においては、支出等に関する書類により適正性 を確認している。						
費目	0	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。							
使	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。							
活	0	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・当該事業は、事業後の県外向け出荷に繋がるよう業界 の自主的な取組が重要であり、沖縄県酒造組合連合会						
動実	0	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	が実施主体となることにより、事業の実効性が高まるとともに、事業後のきめ細かなフォローアップが可能となる体制をよっている。						
績、	0	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	制をとっている。 ・活動内容についても、泡盛カクテル等の飲み方の提案 による需要開拓のためのセミナー試飲会等においても見						
成果実績	_	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているだ。	込み以上の参加人数となっており、成果品等についても 23年度事業で古酒マーケティングプランの策定等の基						
續	0	 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	礎資料として活用する。 						
点検結果	更なる事	業の展開が必要である。							
		予算監視・効率化チームの所見	l						
		上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	ほ算要求における反映状況等)						
		補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となって	いる場合はその結果も記載)						



A. E. 費目 使途 金額 (百万円) 費目 使途 補助金 泡盛マーケティング総合支援事業補助金 36.0 旅費等 調査・指導・監督に必要な経費 0.4	金額(百万円)
補助金 泡盛マーケティング総合支援事業補 36.0 助金	(42)17)
計 36.4 計	0
B. F.	
費目 使途 意 額 (百万円) 費目 使途	金額
東日 区型 (百万円) 東日 参託費 泡盛マーケティング総合支援事業委託 35.3	(百万円)
安計頁 託 旅費 調整旅費 0.7	
費目・使途	
(「資金の流れ」 においてブロッ	
クごとに最大の 金額が支出され	
ている者について記載する。費	
目と使途の双方	
で実情が分かる ように記載)	
計 36.0 計	0
C. G.	金額
費目 使途 金額 (百万円) 費目 使途 (カスカー) を は	(百万円)
開拓関連経費	
調査費 「白酒マーケティングノラン東定等関連 4.6 経費 4.6	
計 35.3 計	0
D. H.	
費 目 使 途 金 額 (百万円) 費 目 使 途	金額(百万円)
計	0

支出先上位10者リスト

A.					
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	沖縄県酒造組合連合会	間接補助事業の実施(事業推進に必要な指導監督・調整等)	36		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

В.

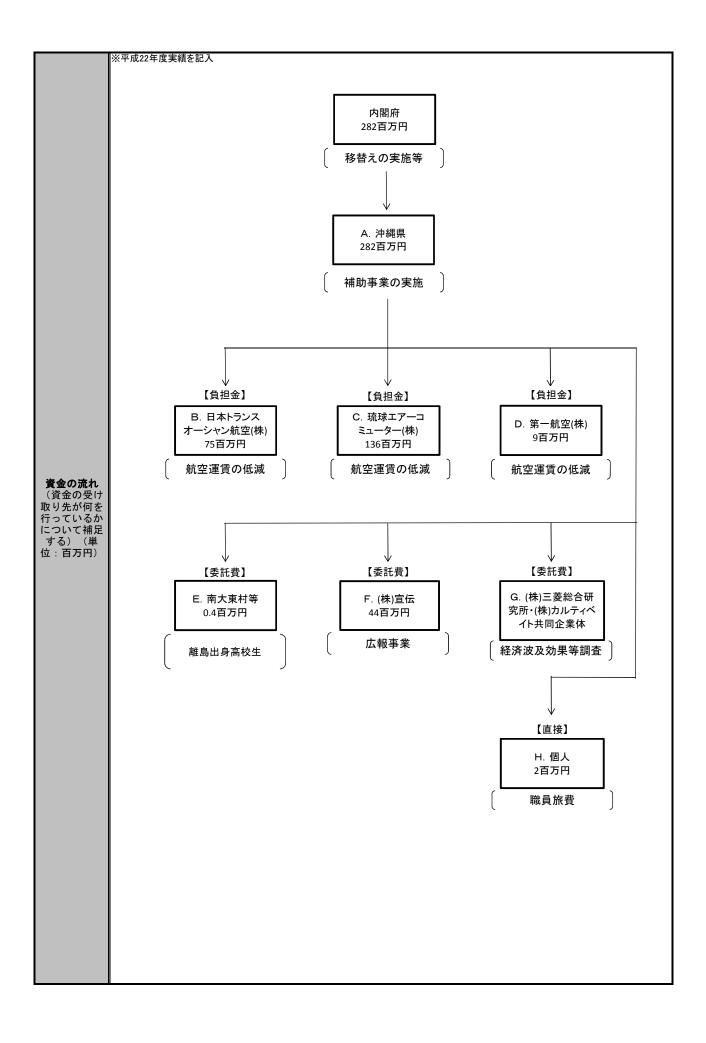
<u> </u>					
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社電通沖縄	泡盛カクテルなどの飲み方の提案による需要開拓(セミナー・試飲会の開催 等)	35	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

			平成2	3年	行政	事業	美レビュ	L—'	シート	(内	閣府)		
事	業名	小	規模離島航空罩	烙利用活	性化事業		担当部	局庁	内閣府政	策統括'	官(沖縄政策	担当)	作	成責任者
事業 終了(予	開始・ 定)年度		平成22~	~23年月	芰		担当記	果室	参	事官(:	企画担当)		参事官	馬場竹次郎
会言	计区分		一般	会計			施策	名			9. 沖縄	政策の推	推	
(具	処法令 体的な も記載)		-	_			関係する通知	計画	沖縄振	興計画	(平成14年	57月 ₽	内閣総理]大臣決定)
(目指簡潔に	の目的 旨す姿を こ。3行程 以内)								となっている 用の創出を[航空運賃を	低減し	、島民の	交通費負担
(5行	養概要 テ程度以 訓添可)	対象路線(6路線) 那覇-粟国、那覇-南大東、那覇-北大東、那覇-久米 実施主体:沖縄県								を調査	する社会実	験を実		り、離島謬民
実施	包方法	□直接実施		□業務	委託等		■補助		口貸付		こその他			
				2	20年度		21年度		22年度		23年			4年度要求
		予 ├──	当初予算 		_		-			382		69	92	
予算額	車額・	o L	甫正予算 喿越し等							0			0	
予昇観・ 執行額 (単位:百万円)		│ 状 │										0.0		
		++	計 ————————————————————————————————————							382			92	
			行額 							282				
		¥从1丁4	× (%)	1F.1=	_			224 1		74%				目標値
成果目	目標及び			:指標				単位	20年度		21年度	22	年度 ———	(年度)
成男	果実績 ルカム)	島民の交通費負担が軽減され、将来的に定住 人口の増加及び産業・雇用の創出を図ることを 目的としているが、短期的に成果を評価するこ とは困難。					成果実績	%						
		活動指標						単位	20年度		21年度	22	年度	23年度活動見込
	旨標及び						Y #4 m/#							
活動(アウ	助実績 トプット)	社会実験期国島、南大	期間中におけ 、東島、北大夏	る、対象 [島、久	象小規模離』 、米島、与那	島(粟 国	活動実績(当初見込	%	_		_	·	44	_
			島)住民の和				み)		_		_	:	30	30
	z当たり Iスト		45,800,000)(円~	/1路線当た	. ()	算出根拠		· 《会社への負持 路線」で除した		执行総額:約	275,000,	000円」を	₹「割引対象路
	費	費 目	23年度当初	7万算	24年度要求	ζ				主な	増減理由			
平成														
2 3														
2														
4 年														
度予														
度 予 算 内														
訳		計				\dashv								

		事業所管部局による点検	
	評価	項目	特記事項
目的	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
状・況予	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業 ではないか。	
算の	0	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金	0	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
の	0	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
使流・途へ、	0	受益者との負担関係は妥当であるか。	
費	0	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
目 •	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活	0	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
動実	0	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
積、	0	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
成果	_	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
実績	0	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	当初、想:	においては、観光客や離島住民等へのアンケートや経済波及効果の検証 定していた搭乗者数を大幅に下回ったため、執行率が下がる結果となった 果的な結果が得られるよう努める。	などを実施し、社会実験としての効果は得ているものの、 -。今後は、制度の見直し等を行い、搭乗者数の増加及
		予算監視・効率化チームの所見	
		上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	算要求における反映状況等)
		補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となって)	いる場合はその結果も記載)



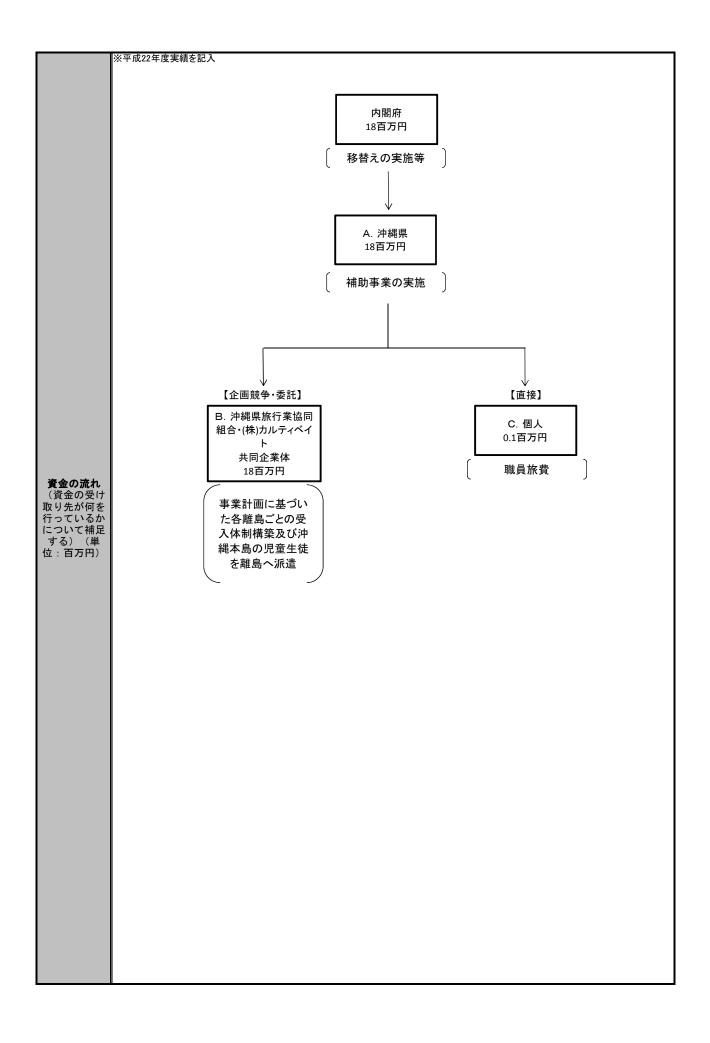
		A.			E.	
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	委託費	小規模離島航空路利用活性化業務 委託費	282	委託費	小規模離島航空路利用活性化事業 高校生手続き事務委託費・負担金	0
		女礼貝			同仪工于机合争伤安乱其一只担亚	
	計		282	計		0
		В.			F.	
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	負担金	小規模離島航空路利用活性化事業 航空運賃負担金	75	委託費	小規模離島航空路利用活性化事業広報に係る 費用	44
		1700 L X L X X X 1 L L			X/11	
費目・使途 (「資金の流れ」						
においてブロッ						
クごとに最大の 金額が支出され						
ている者について記載する。費						
目と使途の双方						
で実情が分かる ように記載)						
	計		75	計		44
		C.	A #5		G.	A #=
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	負担金	小規模離島航空路利用活性化事業 航空運賃負担金	136	人件費	小規模離島航空路利用活性化事業 調査に係る費用と人件費	16
				旅費	小規模離島航空路利用活性化事業調査に係る 旅費	3
	=1.		100	=1.		19
	計		136	計		19
		_				
		D.	金 貊	** -	H.	金 頦
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	費目	T		費目旅費		金額(百万円)
		使 途 小規模離島航空路利用活性化事業	(百万円)		使 途	(百万円)
		使 途 小規模離島航空路利用活性化事業	(百万円)		使 途	(百万円)
		使 途 小規模離島航空路利用活性化事業	(百万円)		使 途	(百万円)
		使 途 小規模離島航空路利用活性化事業	(百万円)		使 途	(百万円)
		使 途 小規模離島航空路利用活性化事業	(百万円)		使 途	(百万円)
		使 途 小規模離島航空路利用活性化事業	(百万円)		使 途	(百万円)
		使 途 小規模離島航空路利用活性化事業	(百万円)		使 途	(百万円)
		使 途 小規模離島航空路利用活性化事業	(百万円)		使 途	(百万円)

支出先上位10者リスト

Α.					
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	琉球エアーコミューター (株)	那覇-南北大東、那覇-久米島、宮古-多良間、石垣-与那国間 の運賃を低減	136	I	ı
2	日本トランスオーシャン 航空(株)	那覇一久米島、石垣一与那国間の運賃を低減	75	I	ı
3	(株)宣伝	小規模離島航空路利用活性化事業についての広報事業	44	12	-
4	(株)三菱総合研究所・ (株)カルティベイト共同企 業体	小規模離島航空路利用活性化事業についての経済波及効果等調査	16	6	_
5	第一航空(株)	那覇-粟国間の運賃を低減	9	_	-
6					
7					
8					
9					
10					

	平成23年 行政					美レビュ	L— S	シート(1	内 閣	府)			
事	業名	j	雛島体験学習促]進事業 		担当部	局庁	内閣府政策紛	括官(沖	縄政策担	当)	作月	成責任者
事業 終了(予	開始・ 定)年度		平成22年	度		担当記	果室	参事官	宮(企画打	担当)	ş	多事官	馬場竹次郎
会計	†区分		一般会計	t		施策	名		9.	沖縄政	策の推議	進	
(具	心法令 体的な も記載)		_			関係する通知		沖縄振興計	画(平月	或14年	7月 内	閣総理	大臣決定)
(目指簡潔に	の目的 旨す姿を :。3行程 以内)	沖縄の離 離島地域と	島と沖縄本島 の交流を促進	等との交流を することにより	進め J離!	、将来を担 島地域の観	旦う児! 見光振	童生徒が離島の 興や活性化等持	重要性 持続的発	や魅力/ き展に結	への認識 びつける	哉を深め う。	うるとともに、
(5行	集概要 程度以 引添可)		人々や地元の					もにおける受入体習を実施しいた。		築し、児	· 皇生徒	を離島	地域に派遣
実施	方法	□直接実施 □業務委託等				■補助		口貸付	口その	他			
		3//	±n マ ⇔	20年度		21年度		22年度	10	23年度		24年度要求	
		当初予算 予 補正予算			-				0			_	
	額・	<i>σ</i> – – – – – – – – – – – – – – – – – – –	越し等	_		_			0	_			
	行額 :百万円)	況	計	_		_			19	_			_
		執行	·額	_		-			18				
		執行率(%)		_		-		Ç	95%				
->		成果指標				単位	20年度	214	年度	22年	度	目標値 (年度)	
成男	目標及び 実績 トカム)	離島に派遣し	した児童生徒及	び教師へのアン	·	成果実績	%	_	_	_	90)	80
	(17)14)		の肯定的評価			達成度	%	_	_	_	113	3%	
	h 1== -4		活動指標	Į			単位	20年度	214	年度	22年	度	23年度活動見込
活動	旨標及び 助実績 トプット)		・自然環境等を	本験学習するた	<u>-</u> め	活動実績	件	_	_	_	16	3	_
		に派遣する」	見 重生徒数			(当初見込み)	''	_	_	_	20	0	()
	:当たり スト		110,429 (円/1人当たり)	算出根拠	「執行除した	· ·総額·約18,000,00 -もの	00円」を「	「離島に》	派遣する	児童生	徒数163人」で
		目	23年度当初予算	24年度要求	ζ			Ė	Eな増減	理由			
平成23・24年度予算内訳													
		計											

		事業所管部局による点検	
	評価	項目	特記事項
目的	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
状・況予	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
算の	0	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金	0	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
の	0	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
使れ、	0	受益者との負担関係は妥当であるか。	
費	0	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
日	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活	0	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
動実	0	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
績、	0	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
成果	_	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
実績	0	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点 検結果	本事業ニューに	実施後に実施した参加児童、教師及び受入離島の関係者などのアンケー 併せて、開催時期などを調整するなどし、今後の施策に活用していくことと	する。
		予算監視・効率化チームの所見	
		上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	省南ボニセルス庁呼や江英)
		上記ので昇重性・別年ルケームの別元を明るんた以音派(映	界安米にのける区吹仏ボ寺/
			The same of the sa
		補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となって)	いる場合はその結果も配載)



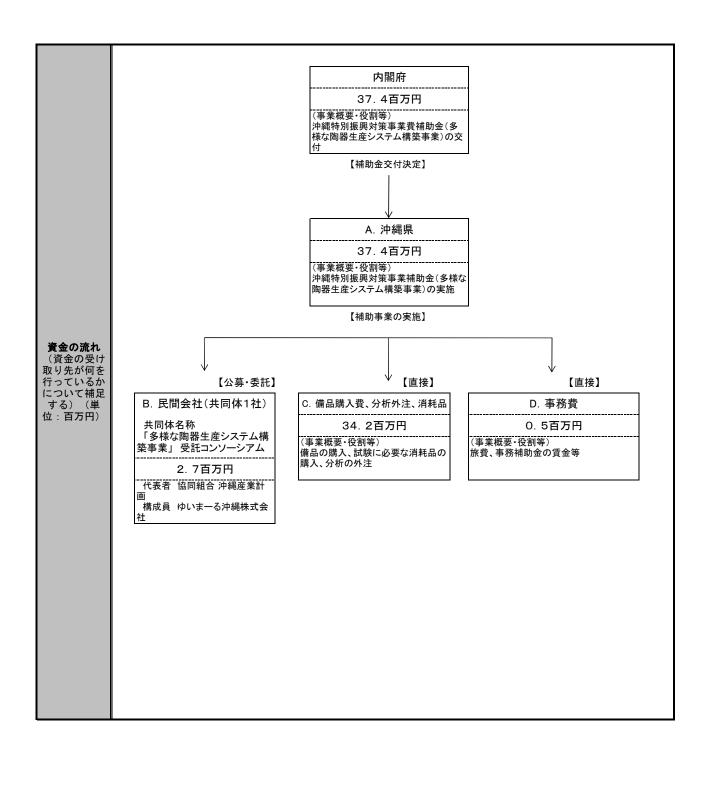
E. A. 金 額 金 額 費目 使 途 費目 使 途 (百万円) (百万円) 委託費 離島体験学習促進事業業務委託費 18 計 0 計 В. F. 金 額 金 額 使 途 使 途 費目 費目 (百万円) (百万円) 人件費 委託先人件費 4 旅費 派遣旅費 等 8 諸謝金 看護師謝金 1 費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごと表れの 金額が支出されている載する。費 目と使徳金の双方で実情が分載) 管理費 -般管理費 3 体験料、印刷製本費 等 その他 3 ように記載) 計 18 計 0 C. G. 金額(百万円) 金 額 費目 使 途 費目 使 途 (百万円) 計 0 計 0 D. H. 金額(百万円) 金額(百万円) 費目 使 途 費目 使 途 計 0 計

支出先上位10者リスト

Α.					
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)カルティベイト共同企	離島における受入体制の構築を行い、沖縄本島地域の小学生を離島地域に派遣し、離島の人々や地元の児童生徒との交流のもと、体験学習を実施。	18	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

			平成234	下 行政事	業レビュ	L — \$	ンート(内閣府)		
事	業名	多様	な陶器生産システ	ム構築事業	担当部	局庁	内閣府政策約	統括官(沖縄政策技	旦当)	作月	龙責任者
事業 終了(予	開始・ 予定)年度		平成22~2	4年度	担当	課室	参事'	官(企画担当)	参	事官	馬場竹次郎
会記	计区分		一般会計		施策	名		9. 沖縄교	改策の推進	₤	
(具	処法令 体的な も記載)		_		関係する通知	等	/ / 神祇恢興 i	十画(平成14年			
(目排筒潔に	の目的 指す姿を こ。3行程 以内)	魅力を創出す	るための製品開発		いての検討を		をメインテーマにジ お 居 産 業 を 振 興 さ も				
(5行	集概要 厅程度以 训添可)	・県産坏土の ・県産陶器を)品質改善と供約 良質かつ安定的	の安定化を目的	りに坏土生産)、原型加工打	技術の支術など	ノステム構築の検 開発及び実証試 ご陶器量産化技行	験を実施。		淫施。	
実加	拖方法	□直接実施	口業	務委託等	■補助		□貸付	□その他			
				20年度	21年度		22年度	23年	度	24	4年度要求
		予 当	初予算	-	_			42		104 –	
	· 新	算補	正予算	-	_			0	0		
	行額	状 繰	越し等	-	_		1	△ 3	3		
(単位	:百万円)	況	計	-	_			39	107		
		執行	額	-	-			37			
		執行率	(%)	-	-		!	95%			
			成果指標			単位	20年度	21年度	22年	度	目標値 (24年度末)
成身	目標及び 果実績 アトカム)	*目標値につ	4年度末に高品 ついては、平成2	質化を達成 3年度の協議会 ^会	成果実績等		_	_	_		-
		で検討して決	央定する予定。 		達成度	%	_	_	_		
汗動 t	指標及び		活動指標			単位	20年度	21年度	22年	度	23年度活動見込
活動	も保及い 助実績 トプット)	検討	は質化に向けた樹 会等に必要な調		活動実績				37百万	5円	_
	10019	②分析 実績:①30[f調査数 回、②7回		(当初見込み)				(42百万	5円)	()
	z当たり iスト	①112千円 ②124千円			算出根拠		寸会及び調査等に 所調査に要した経		幹討会及び	調査件	≑数
	費	費目	23年度当初予算	24年度要求			Ē	主な増減理由			
平 成 2 3					-						
2 4 年					-						
年度予算					-						
内訳					-						
		計									

		事業所管部局による点検				
	評価	項目	特記事項			
目的	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。				
状· 況予	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。				
算の	_	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。				
資	0	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。				
金のサ	0	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。				
使流	0	受益者との負担関係は妥当であるか。				
費	0	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。				
目・	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				
活	_	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。				
動実	0*	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。				
績、	0	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	*アウトカム指標については、23年度に具体的な目標値 を決定する予定			
成果	_	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているためである。				
果実績	0	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。				
点検結果	平成22 当該意見	年度においては検討会等を開催し、効果的に品質改善等が行えるよう専「 見を踏まえ、23年度以降、分析調査等を行い効率的かつ効果的に高品質	引家からの意見を聴取。 化を目指す予定。			
		予算監視・効率化チームの所見				
	į	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	算要求における反映状況等)			
		補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となって)	いる場合はその結果も記載)			



		A.沖縄県			E.	
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	事業費	多様な陶器生産システム構築事業に 係る備品購入等	35			(Д/31/1/
	委託費	多様な陶器生産システム構築事業に 係る業務委託	3			
		PH 0914 333 X 10				
	計		37	計		0
		B.民間会社			F.	
	費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	人件費	研究員手当	2			
	その他	旅費、報奨費	1			
美口 法 体						
費目・使途(「資金の流れ」						
においてブロックごとに最大の						
金額が支出され ている者につい						
て記載する。費 目と使途の双方						
で実情が分かる ように記載)						
	計		3	計		0
		C.備品購入等	夕 姑		G.	金額
	費目	使途 经现场投票 一式 细乳分布测定法	金額(百万円)	費目	使 途	(百万円)
		X線回析装置一式、細孔分布測定装置一式、原型加工装置一式他	33			
		耐火度検査前処理	1			
	消耗品	原料土、分析資材他	1			
	=1		0.5	=1		
	計	D. 東茲弗	35	計		0
	費 目	D.事務費 使 途	金 額 (百万円)	費 目	H. 使 途	金 額
		旅費、賃金	(百万円) 1	- 東口	文 还	(百万円)
	が切り	M. X. X.	1			
	計		1	計		0
	Ι		· ·			

支出先上位10者リスト A.沖縄県

/ \./					
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	沖縄県	多様な陶器生産システム構築事業の実施 沖縄県の実施業務 ・事業全体に係る計画策定、委託先への指導・助言、事業の進捗管理 ・事業推進に係る備品、消耗品購入 ・事業推進に係る賃金及び旅費支払	35	_	_
2		・陶器生産システム構築推進協議会及び製品開発・情報発信部会を開催 し、生産システム構築の検討及び調査を実施。	3	1	99.90%
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B 民間会計

B.B	5. 同会社					
	支 出 先	業務概要	支	出額	入札者数	落札率
		・陶器生産システム構築推進協議会及び製品開発・情報発信部会を開催				
	構築事業」受託コンソーシア	し、生産システム構築の検討及び調査を実施。				
1	<u>ل</u> ــــــــــــــــــــــــــــــــــــ				3 -	_
	代表者 協同組合	上記事項を自ら実施する他、調査研究全体の進行管理・成果のとりまとめ			1	
	沖縄産業計画	を担当				
2					+	
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

C.沖縄県(備品購入等)

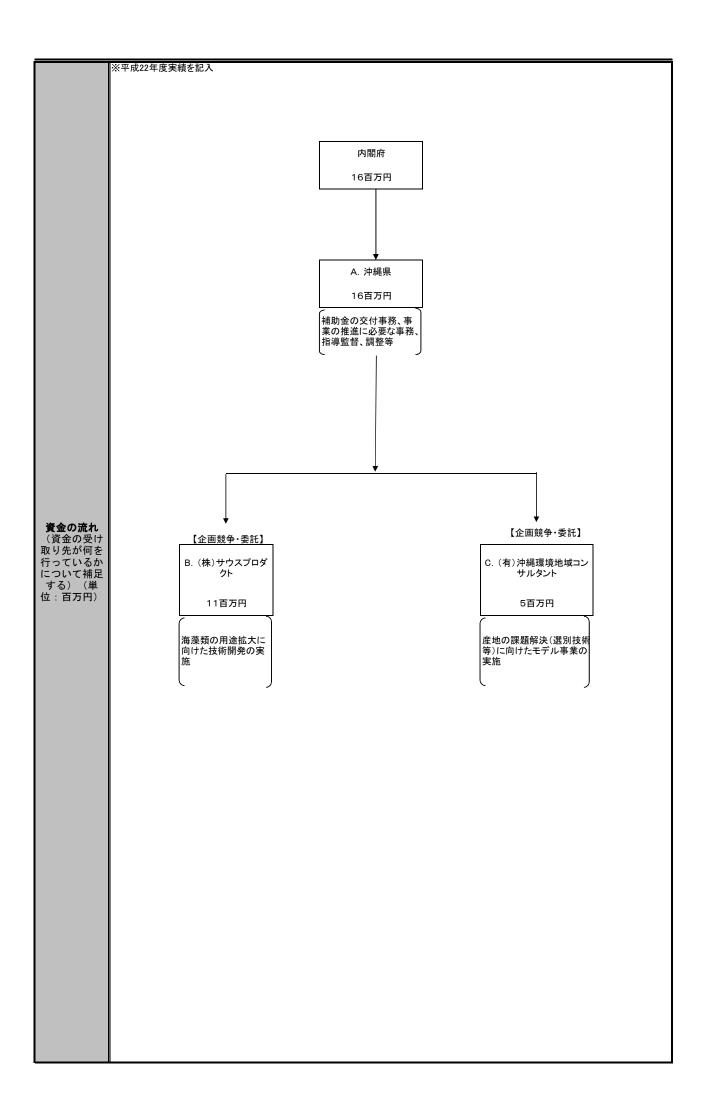
○./ I 小モント ()冊 III ハサノ (寸 /				
支 出 先	業務概要	支 出 額	入札者数	落札率
1 A社	坏土生産技術・陶器量産化技術開発に係る備品購入	17	5	98.07%
2 B社	坏土生産技術・陶器量産化技術開発に係る備品購入	10	5	100.00%
3 C社	坏土生産技術・陶器量産化技術開発に係る備品購入	6	6	99.71%
4 その他(分析外注等)	事業推進に係る分析外注等	2	ı	_
5				
6				
7				
8				
9				
10				

D 沖縄県(事務費)

ロ./T爬尓 (尹/ガ貝 /				
支 出 先	業務概要	支 出 額	入札者数	落札率
1事務費	事業に要する旅費等	1	-	_
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

			平成234	手 行政	事業	ミレビュ	.— 3	シート	(内	閣府)		
事	業名	沖縄及	産海藻類品質向上!	紧急対策事業		担当部	局庁	内閣府	改策統括	官(沖縄政策打	旦当)	作	成責任者
	開始・ 5定)年度		平成21~2	3年度		担当記	果室		参事官(企画担当)	Ž.	多事官	馬場竹次郎
会記	计区分		一般会計			施策	名			9. 沖縄i	政策の推議	進	
(具	処法令 体的な も記載)		_			関係する 通知		沖縄扱	興計画	ī(平成14年	7月 内	閣総理	大臣決定)
(目排筒潔に	の目的 旨す姿を こ。3行程 以内)	沖縄県産海	薬類の品質向上	、高付加価値	化や	新用途の開	見発に。	より、沖縄の	水産業と	≃漁業地域の	振興を図	3.	
(5行	業概要 示程度以 訓添可)	①海藻類(②海藻類(産地の 3海藻類の	目みを通じ、沖縄 モズク等)に関す モズク等)の終ら う課題解決(選別 〕総合的な利活) 〕成果、及び、海	「る総合利用課 う利用に向けた 技術等)、海湧 用による地域扱	関調 注対付 薬類の 長興プ	調査: モズダ 財開発: の用途拡大 5策ガイドラ	クの現 (バイ: ラインの	状調査等 オマス等)、)作成					
実別	包方法	□直接実施	□業	務委託等		■補助		口貸付		□その他			
				20年度		21年度		22年)	22年度		度	2	4年度要求
		予 当	初予算	-			18		17		22	22 –	
豆 4	扩射	算補	正予算	_			0		0		0		
	行額	状 ※ 繰り	越し等	_			0		0		0		
(単位	:百万円)	況	計	-			18		17		22		-
		執行	額	-			18		16			 	
		執行率	(%)	-			100%		94%				
			成果指標				単位	20年月	度	21年度	22年	度	目標値 (23年度)
	目標及び 果実績				成果実績							ガイドライン作成	
	トカム)	「海藻類の総 策ガイドライ:	合的な利活用に ンIの作成	こよる地域振興	方								
						達成度	%						
=: 1			活動指標				単位	20年月	度	21年度	22年	度	23年度活動見込
活動	指標及び 助実績		:ズク等)に関す	る総合利用課題	題調	活動実績							_
(アウ	トプット)		ズク等)の総合	利用に向けた打	支術	(当初見込							
		開発				み)					()	()
	と当たり Iスト		(円/)		算出根拠							
	星	費 目	23年度当初予算	24年度要求	ξ .				主な	:増減理由			
平成													
2 3													
2													
4													
年度予算内													
算													
内訳													
		計											

	事業所管部局による点検											
	評価	項目	特記事項									
目的	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。										
状・況予	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。										
算の	_	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。										
資金	0	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。										
の	0	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。										
使れ、	0	受益者との負担関係は妥当であるか。										
費	0	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。										
	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。										
活	0	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。										
動実	0	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。										
績、	0	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	・本事業の最終的な成果物である「海藻類の総合的な利活用による地域振興方策ガイドライン」を広く啓発し、沖									
成果実	0	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているが	縄の水産業と漁業地域の振興を図る。									
美績	0	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。										
点検結果	いる。また 更に沖紅	執行については、事業実施前の交付申請時、事業実施後の実績報告時(と、実施主体である沖縄県においても年度末の完成検査等を行い、適正な 縄県に対し、本事業も含めた各事業の進度や問題点の把握、次年度以降 急性や沖縄の独自性といった観点も踏まえたうえで優先度を判断し、予算	は予算の執行に努めている。 は今の継続箇所の必要性等について聴取の上、各地域に									
		予算監視・効率化チームの所見	ļ									
L		上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	(算要求における反映状況等)									
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)												



E. 金 額 金 額 費目 費目 使 途 使 途 (百万円) (百万円) 事業の推進に必要な技術開発、モデ 委託費 15.8 ル事業にかかる経費等 事業の実施に必要な、職員の検査旅 費等 指導監督費 0.4 計 0 В. F. 金 額 金 額 費目 使 途 費目 使 途 (百万円) (百万円) 海藻類用途分野別の利用法開発、分 科会の設置・運営 直接人件費 3.2 試作品製作 原材料費、消耗品、機器使用料等 3.9 費 旅費 調査・ヒアリング 0.7 費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロッ クごとに最大の 一般管理費事業実施に係る諸経費 2.0 その他 委員謝金、報告書・会場借料等 0.7 金額が支出され ている者につい て記載する。費 目と使途の双方で実情が分かる ように記載) 計 10.5 計 0 C. G. 金 額 金 額 費目 使 途 費目 使 途 (百万円) (百万円) 直接人件費 現場責任者育成、委員会の設置・運営 現場責任者 1.4 賃金 需用費 0.2 委員会資料、報告書作成 一般管理費 事業実施に係る諸経費 8.0 委員旅費、委員謝金、現場責任者育 成のための車両費等 その他 0.5 計 5.3 計 0 金 額 金 額 使 途 使 途 費目 費目 (百万円) (百万円) 計 0 計

支出先上位10者リスト

A.					
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1		海藻類の用途拡大に向けた技術開発の実施	11	随意契約	
2	(有)沖縄環境地域コンサル タント	産地の課題解決(選別技術等)に向けたモデル事業の実施	5	随意契約	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

				<u>平成 2</u>	<u>3年</u>	<u> 行政</u>	事第	美レビュ	<u>. — ;</u>	<u>シ</u>	<u>ート (</u>	<u>为</u>	閣府)			
事業	基名		地域協	働による新力	こな防児	虱林促進事業		担当部	局庁		内閣府政策統	括官	宮(沖縄政策担	3当)	作	成責任者
事業開 終了(予定				平成21~	~23年	度		担当記	果室		参事官](1	と画担当)	Ą	多事官	馬場竹次郎
会計	区分			一般	会計			施策	名				9. 沖縄政	対策の推議	進	
根拠 (具体 条項も	的な			_	-			関係する 通知	等		沖縄振興計					
事業の (目指す 簡潔に。 度以に)目的 す姿を 3行程										よる整備、管理 的な防風林整備					
事業 (5行科 内。別)	星度以	本構 な 1 2 3 4 5 6	想ふ死悉とになる。これで、これで、これで、これでは、これでは、これでは、これで、これでは、これでは	定に対して は協整に は林の氏・ ははで効制・ はでが制・ はでが制・ はでが はでが はでが はでが はでが はでが はでが はでが	国としる防のは一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、	、て補助を行う 林整備基本 は農体系・被害 関査、多面的	う。(対別の) (対別の) (対別	補助率8/10 の策定に当 記等の現地 の発揮状況 ークショップ 里者・地域付	以内) 当たっ 調査 調査す) ては 並び 舌用	、管理体制の構 は、以下の調査 がにそれに基づいた整備構想の の意向調査	を実 くモ・	施する。 デル地域の違		かによる	防風林整備基
実施ス	方法	口直:	接実施	[二業務	委託等		■補助			〕貸付		その他			
						20年度		21年度			22年度		23年	度	2	4年度要求
		予	当神	切予算	-				9			14		29)	_
又做的	#5 .	算の	補工	E予算		_			0			0		()	
	行額	状	繰走	返し等		-			0			0		(1	
(単位∶百	5万円)	況		計		_			9			14		29)	_
			執行	額		_			9			13				
		\$	執行率	(%)		-			100%		g	3%				
		成果指標							単位	ż	20年度		21年度	22年	度	目標値 (23年度)
成果目標 成果等 (アウト	実績	「地境	域協働に	よる防風材	木整備	基本構想」の	策定	成果実績達成度	%	7						構想策定
				汗 新					単位		20年度		21年度	224	· 庄	22年度迁動目は
活動指	標及び	Full I	h 1			++ ++ -			中心		20 千 及		21千及	22年	· 及	23年度沽動見込
活動類	実績					基本構想」の』 7つの調査項		活動実績	一种大场口	- **			1	3		_
())1	,,,	実施	0					(当初見込み)	調査項目	390				(3)	(3)
単位当コス				52]	百万(円/計画策策	≣)	算出根拠	「地域	t協·	働による防風を	木整	備基本構想.	の策定に	に係る国	国費の合計。
	費	費 目 23年度当初予算 24年度要求									Ì	な	曽減理由			
平成23・24年度予算内訳		計														

	事業所管部局による点検												
	評価	項目	特記事項										
目的	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。											
状· 況予	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	-										
算の	_	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。											
資金	0	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。											
の	0	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。											
使流・	0	受益者との負担関係は妥当であるか。	-										
費	0	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。											
目 ·	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。											
活	0	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。											
動実	0	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。											
績、	0	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-										
成果	_	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているが											
果実績	0	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。											
点検結果	営の見通	は、沖縄の有する特殊事情を踏まえた上で、①事業の概要、②事業の必! 追し及び実施体制、⑤上位計画(沖縄振興特別措置法、沖縄振興計画、分 のと考える。											
		予算監視・効率化チームの所見											
		上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	算要求における反映状況等)										
		補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となってし	いる場合はその結果も記載)										

※平成22年度実績を記入 内 閣 府 13百万円 補助金の交付事務、指導監督等業務 【補助】 A. 沖 縄 県 13百万円 「地域協働による新たな防風林促進事 業」の実施 【指名競争入札方式】 B. アジアプランニング(株) 13百万円 委託事業「地域協働による新たな防風林 促進事業」の実施 資金の流れ (資金の受け取りをが何を 行っているかについて補足する)(単位:百万円)

		A.沖縄県			E.	
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	外部委託	「地域協働による防風林の促進に関する 検討業務」の委託	13			
	その他	旅費	0.3			
	計		13	計		0
		B.アジアプランニング(株)			F	
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	その他	「地域協働による防風林の促進に関する検討業務」の実施。	13			
華口 法法						
費目・使途 (「資金の流れ」						
においてブロッ クごとに最大の 金額が支出され						
ている者につい						
て記載する。費 目と使途の双方						
目と使途の双方で実情が分かるように記載)						
	計		13	計		0
		C.	全 頞		G.	全 類
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	=1		0	=1		0
	計	D.	0	計	H.	0
	費 目	使途	金額(百万円)	費 目	使途	金額(百万円)
	<u> </u>	区 返	(百万円)	<u></u> Д П	区 巡	(百万円)
	計		0	計		0
	ı	l	i "	l "'		Ī

支出先上位10者リスト A.沖縄県

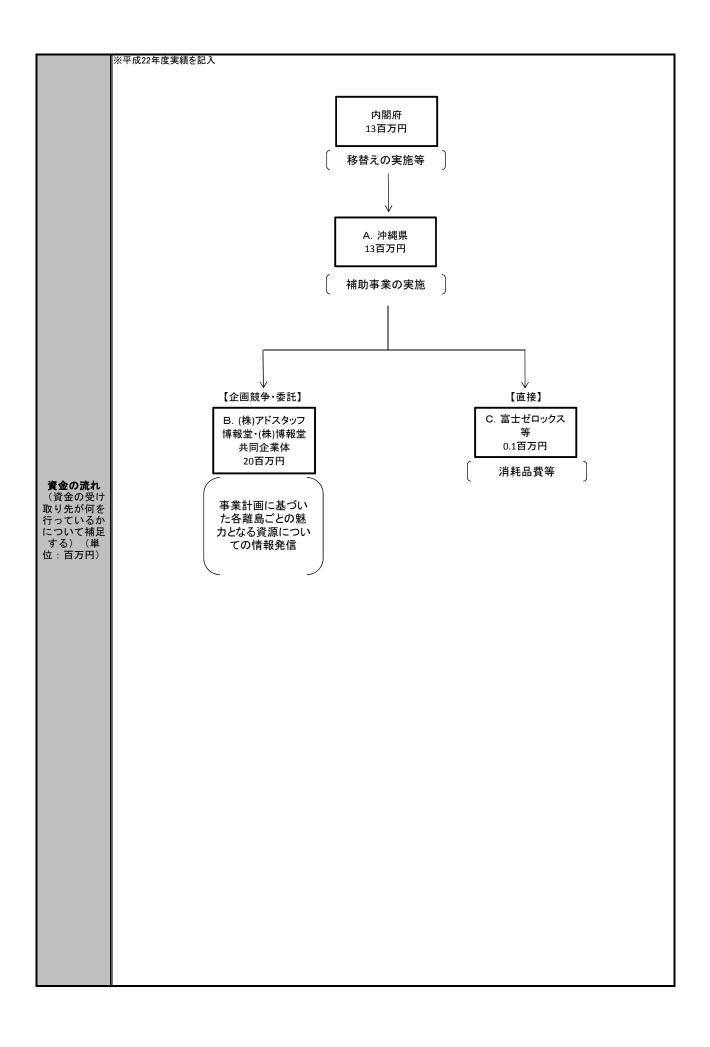
771	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	沖縄県	「地域協働による防風林の促進に関する検討業務」を委託。	13		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9				·	
10					

B.アジアプランニング(株)

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	アジアプランニング(株)	委託事業「地域協働による防風林の促進に関する検討業務」の実施。	13	8	96.0
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

				平成2	3年	□ 行政	事業	美レビュ	.—	シート	(内	閣府)		
事	業名		沖縄離	島戦略的忖	青報発	信支援事業		担当部	局庁	内閣府政	策統括'	官(沖縄政策	担当)	11	成責任者
	開始 • 定)年度			平成22	~24年	度		担当詞	果室	参	事官(:	企画担当)		参事官	1 馬場竹次郎
会計	十区分			一般	会計			施策	名			9. 沖縄	政策の打	推進	
(具	処法令 体的な も記載)			-	_			関係する通知		沖縄振	興計画	(平成14年	57月 Ⅰ	内閣総3	理大臣決定)
(目指	の目的 指す姿を こ。3行程 以内)			島の知名原 目的とする]上を図り、フ	人域	観光客数0	の増加	コや特産品 <i>の</i>	売上に	が増加等に	繋げ、离	進島地均	成の活性化を
(5行	≹概要 ī程度以 训添可)	題を 外で	抱えるり	県外での知 知名度の	口名度	の低い離島	にお	いて、島の	の魅力	となる資源	こつい	て、戦略的	こ情報	発信を行	ない」等の問 テうことで、県 生化を図る。
実施	拖方法	口直	接実施	1	□業務	秀 委託等		■補助		口貸付		こその他			
						20年度		21年度		22年度		23年	度		24年度要求
執		予		切予算		_					14			31	
	₽額·	算の		E予算 ····································		_		_			0			0	
	行額 百万円)	状況	#深及	逑し等 ———— - '											
			±+ 4=	計 							14			31	
			執行								13			_	
		:	執行率		45.17	_			*** / 1		93%				目標値
成果目	目標及び	成果指標 							単位	20年度		21年度	22	2年度	(年度)
成男	果実績 トカム)					が向上が図ら 対及び特産品									
	•					を目的としてい ことは困難。	ハる	達成度	%						
				活動	指標				単位	20年度		21年度	22	2年度	23年度活動見込
	旨標及び 助実績							活動実績						_	
		情報	発信を実		島数			(当初見込	件					5	_
								み)						5	()
	と当たり ロスト			2,540,00	00 (F	円/1件当たり	J)	算出根拠	「執行	·総額:約12,7	00,000 F	円」を「情報多	終信実施	離島:5	島」で除したもの
	乽	10000000000000000000000000000000000000		23年度当初	刀予算	24年度要求	ξ				主な	増減理由			
平成															
2 3															
2															
4 年															
年度予算内															
訳		計					_								
		HI		1	ı		- 1								

	事業所管部局による点検										
	評価	項目	特記事項								
目的・予算の	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。									
	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。									
	0	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。									
資金の流れ、費目・	0	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。									
	0	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。									
	0	受益者との負担関係は妥当であるか。									
	0	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。									
	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。									
活	0	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。									
動実	0	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。									
績、1	0	活動実績は見込みに見合ったものであるか。									
成果	_	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか									
実績	0	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。									
点検結果	情報発信の対象となる離島を、観光客や人口が少ない離島に限り実施しているため、各離島への専門家の派遣や各離島での会議への出席に関して、天候の影響や離島へ行く手段が限定されている等があり、予定通り事業を進めることが困難であったため、次年度以降では、年間のスケジュール等の事前準備を詳細に行うこと等により、効率的な事業実施に努める。										
		予算監視・効率化チームの所見									
		上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	算要求における反映状況等)								
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)											



	A.			E.			
	費 目	使 途	金 額	費 目	使 途	金額	
	委託費	沖縄離島戦略的情報発信支援事業	(百万円) 13	2, -		(百万円)	
	女叩貝	業務委託費	13				
	計		13	計		0	
	В.				F.		
	費 目	使 途	金額(百万円)	費 目	使 途	金額	
				具 口	区 巡	(百万円)	
	人件費	委託先人件費 情報発信推進会議、事業運営協議会	6				
	旅費	等に係る旅費(島民委員、外部専門 家、事務局)	3				
費目・使途	諸謝金	情報発信推進会議、事業運営協議会 等に係る謝金(島民委員、外部専門 家)	1				
(「資金の流れ」においてブロッ	管理費		2				
クごとに最大の 金額が支出され	その他		1				
ている者につい							
て記載する。費 目と使途の双方							
で実情が分かる ように記載)							
	=1			=1			
	計		13	計		0	
	C		金 額	G.			
	費目	使 途	(百万円)	費目	使 途	(百万円)	
	÷T			±1			
	計		0	āĦ		0	
		D.			H.		
	計	D. 使途	0 金額 (百万円)	計費目	H. 使途	0 金額 (百万円)	
		1			T		
		1			T		
		1			T		
		1			T		
		1			T		
		1			T		
		1			T		
		1			T		
		1			T		

支出先上位10者リスト A

A	A.										
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率						
1	(株)アドスタッフ博報堂・ (株)博報堂共同企業体	○各島における情報発信推進チームの設置及び情報発信推進会議の開催○各島における島の資源洗い出し及び島の資源に係るリスト作成	13	随意契約							
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											